

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	3	0	・意見 部屋ごとに利用者を集めて支援などしている。 / 利用者(子どもさん)一人当たりの㎡数の条件は適切に満たしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	13	0	0	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	2	0	玄関入り口は階段ですが、建物内はバリアフリーです。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	6	0	支援計画を職員が確認する時間を確保しています。業務改善やPDCAサイクルについて、ミーティング時に話す機会を増やして行きたいと思います。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	3	0	第1回から第6回の自己評価表の検証を行い、改善しつつあるものと、改善できていないものがあります。引き続き、検証のあと、改善を続けて、HIROキッズがより良くなるように努めます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	2	1	自己評価の結果はHIROキッズのホームページで公開しています。 http://kihon.or.jp
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	4	4	・意見 改善中、組織作りの途中 / 令和6年(2024)2月より、再び第三者委員会を立ち上げました。今後、必要な案件は委員会で協議いたします。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	3	0	ミーティング時の情報共有や、外部の研修に参加しています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	3	0	アセスメントは計画相談の担当者や保護者から聴き取っています。ミーティングで職員と話し合いながら個別支援計画案を作成して担当者会議を経て個別支援計画を作成しています。職員がミーティングで利用者の様子や個別支援計画にふれる機会も増えています。職員間での共通理解も少しずつ進んでいます。

適切な支援の提供

10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	6	0	アセスメントについてミーティングで職員間で話し合う時間は増えました。アセスメントツールは昨年わかりやすいものを定め、使用しています。職員の理解にまで至っていないので、今後伝えていきます。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	5	1	・意見 行ってはいるがスムーズに機能していない。 / 活動プログラムは常勤職員を中心に話し合っています。ミーティングで議論したことを活動プログラムに反映させています。職員から様々な意見が出ています。意見をまとめて、より良いプログラムにしていきます。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	4	1	・意見1 活動の範囲が近い場所が多い、活動の場所を広げたいと思う。・意見2 行ってはいるがスムーズに機能していない、改善中。 / HIROキッズも令和6年3月で9年目となり、プログラムの立案には苦勞する面があります。活動プログラムが固定化しないよう、職員で話し合いながら工夫をしています。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	5	1	・意見 ある程度は出来ているが、詳細さにはまだ欠けている。 / ミーティングで利用者(子どもさん)について職員間で話しています。それによって子どもさんの共通理解をすすめています。HIROキッズでは個別対応を重点的にやっています。個別の課題のきめ細やかさがもう少し必要だと感じています。一方、土曜日、長期休暇は午後から外出して集団活動に取り組んでいます。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	3	0	・意見 行ってはいるがスムーズに機能していない。 / HIROキッズでは個別対応に努めています。集団活動は利用者(子どもさん)が対応できる範囲で緩やかに参加させています。利用者(子どもさん)の気持ちもできるだけくみ取りながら、一方で集団の力を利用して活動を行って参ります。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	2	1	午後一番に送迎確認、利用者(子どもさん)の確認事項やその日の注意点などを話し合っています。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	6	2	1日の活動後、振り返りを行っています。その日の出来事、反省点を職員間で話し合っ、支援に生かせるよう努めています。パートさんは夜の振り返りに参加できないので、翌日共有できるように努めています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	3	0	正しい記録を取るよう努めています。今後も支援の検証・改善に努めていきます。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10	2	1	計画の見直しは担当者会議で職員数名で話し合い、その後児童発達支援管理責任者が立てた計画案と照らし合わせて作成しています。職員の意見も反映されています。計画を職員で話し合うことで、共通理解が進んでいます。いろいろな意見が出るようになって、多角的な視点から話し合いを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	8	5	0	ガイドラインを意識しながら利用者(子どもさん)の健全な育成を図って参ります。HIROキッズは、利用者(子どもさん)が楽しく活動することに軸を置いています。職員が共通認識を持ちながら、利用者(子どもさん)の特性に合った関わりに努めます。新しい職員はガイドラインに馴染んでいないので、今後もミーティング時などに学び合います。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	2	0	未記入1 / 児童発達支援管理責任者がサービス担当者会議に出席することは多いですが、時間調整ができる会議では直接支援をする職員が会議に出席しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	11	2	0	・意見 出来ている学校と、そうでない学校とある。 / 利用者(子どもさん)が持ち帰る下校時刻予定表を見せてもらったりして、時間の確認を行っています。保護者にも連絡を取ってさまざまな調整をしています。モニタリングが学校で開催していただけることもあります。送迎時に職員から先生に話しかけて、学校での子どもさんの様子を尋ねたり、気になることを相談しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7	6	0	対象のお子様がいらっしゃるときに、計画相談、病院、学校の連絡会議に参加させていただき、情報をもらって対応しています。現在はケアが必要な子どもさんはおられません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	5	1	今年も新1年生が3名入ってこられ、計画相談やお母さんを通して、保育所や幼稚園からの情報提供を頂きました。情報の共有に努めて参ります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7	6	0	・意見 準備はしている。 / 次のサービスや就労先にステップアップしていくときに、今まで関わってきたことを移行先と相互理解してつなげていけるように努めて参ります。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	4	1	八女市のリーベルネットワーク、広川町の自立支援協議会に加盟しています。専門的な助言を受けてきました。	

	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	5	3	・意見 交流は行ってはいるが、機会は少ない。 / ここ3年間コロナの為にできていませんでしたが、令和5年12月にクリスマス会の時に、中学校の吹奏楽部の生徒さんと交流がありました。また、夏には魚のつかみ取りを有志のボランティアの方々に協力して頂いて、HIROキッズの子どもさんが自然に触れあい、野外調理する機会に恵まれました。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7	5	1	広川町の自立支援協議会や八女市のリーベルネットワーク会議に積極的に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	2	1	モニタリングの時、送迎の時、お電話やラインなどのやり取りで、保護者とお話しして共通理解に努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	7	2	・意見 努力中 / 保護者の子どもさんの事に対する不安の解消に努めています。ペアレント・トレーニングも研修で学んだことを職員間で学び合って保護者の皆様と関わっています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	4	0	HIROキッズのご利用の契約時に説明をしていますが、保護者の皆様のご不明な点はその都度ご説明して参ります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	7	0	保護者の方への子育ての悩みに対する助言と支援に努めています。HIROキッズに保護者の方々が気兼ねなく来れるように、呼びかけをしています。今後知識・経験を重ねて努力して参ります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	5	2	・意見 改善中 / 父母の会、保護者会は令和5年11月、令和6年2月に少人数で開催しました。今後も少人数ではありますが、皆様の交流の場としてご案内していきたいと思っております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	0	1	日頃努力しています。利用者(子どもさん)の安全面に気を付けて参ります。また、保護者の方の不安や心配を解消していける様に努めて参ります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11	1	1	機関紙「ひろば」を発行しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	12	1	0	取り扱いに十分気を付けています。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11	2	0	保護者の方が分かりやすい言葉でお伝えするように努めています。利用者(子どもさん)には、絵カードなどでコミュニケーションの工夫をしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	8	1	地域の方々にHIROキッズの活動を知ってもらって、地域に根差していけるよう努めて参ります。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10	2	1	令和3年11月に、緊急時、防犯、感染症対応マニュアルを職員、保護者に配布して周知しました。令和6年に作成中のマニュアルができましたら、配布、周知致します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	13	0	0	これまで1年に2回の火災避難訓練を実施しています。令和6年1月に行った訓練は、広川町消防署にもご協力頂きました。火災だけでなく、地震、水害などについても消防士さんから話してもらって学ぶことができました。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	11	2	0	事業所内のミーティングで虐待防止の手引きを中心に勉強を継続しています。ミーティングで行ったことの記録を残していきます。虐待の研修には職員を参加させるように努めています。虐待の問題は不断の努力が必要であると考えています。令和5年から、虐待防止委員会を設置します。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	13	0	0	身体拘束は、お子様ご本人や、他のお子様の身に危険が及ぶ恐れがある時に行動制限する旨を保護者の方にお伝えしています。職員に危険が及ぶ行為の時にも止むを得ず行動制限することができます。平成30年より個別支援計画にも記載しています。身体拘束適正化委員会を設置しました。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	8	1	現在医師の指示書が出ておられるお子様は在籍していません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10	3	0	ヒヤリハット事例はHIROキッズ内での統計上、数が少なくなっています。ヒヤリハットの大切さを職員で共有して報告する風土を醸成します。ヒヤリハットの段階で気づいて、深刻な事故を回避していけるように努めて参ります。